



カワガラス

(2004年11月21日撮影)

カラスと名前がついていますが、カラスの仲間ではありません。

濃い茶色の身体がカラスのように見え、いつも川の近くにいるからカワガラスとついた、といわれています。でも、大きさはカラスよりずっと小さめです。

カモやハクチョウのような水かきはありませんが、水の中に潜ったり、水の中を歩いたりするのがとても上手な鳥で、川の中にいる昆虫の幼虫や小魚を捕まえて食べます。

冬の時期に子供を産むので、食べ物探しが忙しくなる冬に、川で会える場合があります。

○よく会える時期：1月から4月くらい

○よく会える場所：ヒザ川沿い



※カワゲラなどを食べます